

令和4年6月27日(月)に玉江小学校を会場に伊敷中ブロックの小中連携研修会を行いました。
授業参観後、分科会にて連携を図りました。
各分科会で協議されたことや共通実践事項について紹介します。

【第1分科会「確かな学力の育成」】

「学習指導の充実」～活用力育成に向けた指導法の工夫～

- 各学校共通の課題・・・資料から読み取る力、読解力、文章化する力、家庭の教育力
学習に向かう姿勢、基礎・基本、指導法
- 取り組むべきこと
 - ・2分前着席1分前黙想(授業と休み時間の切り替え) ・机上の整理 ・学習環境を整える
 - ・発達段階に応じた指導 → 与えられる学習から自ら求める学習へ
 - ・帰りの会で5分間一日の振り返りの時間を設ける(準備・宿題等) → 家庭学習に臨む・生かす
- 教師側の意識
 - ・授業、学習に集中できる環境づくり・工夫 → 資料から読み取る力や読解力をつけさせる
 - ・与える学習から自ら求める学習へ ～ 授業に生きる学習をさせるよう意識する

【第2分科会「生徒指導の充実」】

- SNSトラブルの増加について
 - ・「ネットスリープ宣言」(夜9時以降 保護者が保管)の確実な実施 ⇒ 3校共通実践事項
 - ・対戦型ネットゲームの規制⇒3校共通実践事項
 - ・SNSに関しては保護者の責任による確実な見届けを呼びかける。
- 不登校傾向児童・生徒の増加について
 - ・小中間の連携がさらに必要。小学校から中学校へのつなぎを十分に行う。中1ギャップの軽減
- いじめ防止への取組
 - ・早期発見、未然に防ぐ目的で「学校楽し〜と」「いじめアンケート」を活用
 - ・保護者からの訴えに加えて、本人からの訴えを増やす教師との関係づくりが大切

【第3分科会「特別支援教育の充実」】

- その子にとってどのような教育が必要かを保護者に理解してもらう ～ そして関係づくりも大切
- 特別支援学級に所属している、いないにかかわらず、支援の必要な生徒も公立の高校に入学している。そのような現状も把握しておきたい。

3校の共通実践事項

将来を見据えた就学指導の充実

- ・小学生段階から、進路を意識した教育相談
- ・中学校(特別支援学級)の授業参観の実施(1学期中)